

はじめに

〈チャンク〉とは？

英会話を上達させる最も基本的な方法は「一般的で有用な単語の集まりをできるだけ多く完璧に覚えることだ」と、はるか昔1925年に、日本の文部省の英語教授顧問として活躍した英語教育学者ハロルド・パーマー氏は提唱しました。これはつまり、さまざまなシーンで使える「言語チャンク」を習得することが、自然なコミュニケーションへの近道だということです。ではそのチャンクとは一体何でしょうか？

チャンクとは、特定の意味を持ち、常に1つのまとまりとして一緒に使われる単語の組み合わせを指します。チャンクには、固定表現(例：by the way)、連語(例：pay attention)、定型表現(例：How's it going?)、センテンススターター(例：I'm about to...)、句動詞(例：give in)、イディオム(例：Break a leg!)などがあります。こういったチャンクは、文法を考えたり組み立てたりすることなく、記憶からそのまま取り出して使うことができます。

チャンクを暗記するということは、文中の個々の単語を解析することなく、瞬時に言語を理解できるということです。たとえば、よく知られている

“Merry Christmas!”というフレーズを聞くと、すぐにクリスマスの挨拶として認識しますよね。誰も“merry”の意味を「陽気な」や「快活な」と考え直すことはありません。これらの単語はあまりにも頻繁に一緒に使われてきたため、自動的に1つのユニットとして理解されます。

この考え方を、さまざまなコミュニケーションシーンで使える数千の有用な言語チャンクに広げていくと、耳にする英語を即座に理解できるだけでなく、自分でもより流暢で自然な言葉を生み出すことが可能になるというわけです。

チャンクを学ぶメリットとは？

ある研究によると、英語の約7割が「言語チャンク」で構成されているそうです。また、これらのチャンクを暗記することで、流暢さや言語処理能力が大幅に向上することが示されています。ということは、チャンクの学習に焦点を当てた人は、より早く英語を理解できたり、自信を持って自然な会話ができるようになるということです。さまざまなチャンクを学び、記憶に蓄積することで、言語を素早く処理し、自然に使いこなすための「言語の貯蔵庫」を発達させることができるのです。

本書には、学習効率を一番に考えて、特に使用頻度の高い言語チャンクを厳選して紹介してありますので、非常に効率よく会話頻出のチャンクを身につけることが可能です。それらのチャンクは、さまざまな人、場面、目的に対して使うことができますし、日常会話でより自然かつ効果的に話すためのツールとなるでしょう。